# 平成 26 年度事業報告書

## 第１　子ども・若者の自主性・社会性の伸長と自立の促進

### ①　少年の主張佐賀県大会事業

次代を担う子どもたちに、広い視野と柔軟な発想や創造性とともに物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けることが大切であり、これらの契機として実施した。

・日　時　　平成 26 年 8 月 24 日（日）13：30～16：30
・場　所　　アバンセホール（佐賀市）
・実　施　　県、県教育委員会と共催
・内　容
　〇県内の中学校へ１学年３名以内で主張発表者を募集
　〇予選審査会を経て、県大会出場者１０名を選出
　〇最優秀者を全国大会出場候補者として推薦

（結果）

| | |
|---|---|
| 最優秀賞 | 石丸　星美さん　東明館中学校 3 年<br>タイトル「私の中のルビンのつぼ～視点を変える」 |
| 優秀賞 | 岩瀬　葉月さん　武雄市立北方中学校 2 年<br>遠藤　彩さん　　佐賀大学附属中学校 3 年 |
| 優良賞 | 7 名 |
| 学校内応募者数 | 881 名 |
| 被推薦者数 | 46 名 |
| 県大会参集者 | 200 名 |
| 全国大会 | 期日　平成 26 年 11 月 9 日（日）13 時～16 時<br>場所　国立オリンピック記念青少年総合センター<br>主催　独立行政法人国立青少年教育振興機構 |
| 課題 | ・過去 5 年間で校内応募者数及び被推薦者数が低い。<br>・大会参加者数の低下 |

### ②　顕彰事業

日ごろ地域で、地道に優れた子ども・若者育成支援を展開している青少年、青少年団体・グループ、青少年育成支援指導者、青少年育成団体

などを対象に顕彰事業を実施した。

（結果）
○個人（青少年指導者）
井上　誠（唐津市）　伊東　恒彦（鹿島市）　藤田　孝義（唐津市）
竹下　康雄（鹿島市）

### ③ 新春読書感想文コンクール事業

県立図書館ほか関係機関・団体と共催して小・中・高校生及び一般の方の読書の向上を図った。

（結果）
・応募締切　一般の部　：平成 27 年 1 月 9 日（金）
児童生徒の部：平成 27 年 1 月上旬(各学校で定めた日)
・応募者数　38,345 件　（小学校 27,846 件　中学校 7,305 件
高等学校 3,180 件　一般　14 件）
・審 査 会 一般の部　：27 年 1 月 27 日（火）
児童・生徒の部：27 年 2 月 3 日（火）
・表 彰 式 平成 27 年 2 月 26 日（木）
・県民会議会長賞　小学校、中学校、高等学校、一般の部のそれぞれ 1 名の方に授与した。
・受 賞 者　小学校の部 廣瀬　優芽さん(吉野ケ里町立東脊振小学校 5 年)
中学校の部　田代　晃太さん（鹿島市立東部中学校 1 年）
高等学校の部 三浦　早紀さん（佐賀学園高等学校 1 年）
一般の部　日比野　紀子さん〈佐賀市〉

## 第２　子ども・若者の育成支援に対する親・大人・社会の意識啓発の促進

### ①　「家庭の日」運動の推進事業

毎月第３日曜日を「家庭の日」とする運動を推進するため、機関紙「青少年さが」やポスター及びホームページを活用して、啓発活動に努めた。

### ②　子ども・若者育成支援強調運動事業

夏、秋に「子ども・若者育成支援強調月間」を設定し、期間中に集中的な広報活動を展開し、広く県民の子ども・若者育成支援に対する理解と実践活動を促した。

（ア）「夏の子ども・若者育成支援強調月間」

・期　　間　　平成 26 年 8 月 1 日（金）～31 日（日）

・広報啓発　　チラシの配付

| |
|---|
| 平成 26 年 7 月 15 日チラシを作成し配布　部数　500 部<br>配付先　市町、市町民会議 |

（イ）「全国子ども・若者育成支援強調月間」

・期　　間　　平成 26 年 11 月 1 日（土）～30 日（日）

・広報啓発　　機関紙、チラシの配付

・事　　業　　期間中に「子ども・若者育成支援、非行防止県民大会」を開催

### ③　「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進事業

○子ども・若者育成支援ネットワーク会議の開催

各分野における子ども・若者育成支援関係者が、幅広い活動、多彩な人材でのネットワーク化を図り、連携・協力を深めることにより、地域ぐるみの育成活動の充実を図った。

・各分野における子ども・若者育成支援関係者の連携強化を図るため、県内２地区（玄海町、有田町）でネットワーク会議を実施した。

・「地域のおじさん・おばさん運動」の推進を図るため、青少年育成市町民会議と連携を深めた。

| |
|---|
| (結果)<br>○玄海地区<br>日　時　　平成 27 年 2 月 6 日(金)　14:00～16:30<br>場　所　　玄海町町民会館中会議室<br>参加者　　17 名<br>内　容　　10 団体から活動内容の紹介及び課題について話された。その後、「唐津・玄海地区の少年非行と薬物情勢」について、唐津警察署生活安全課長　井上　貴彦氏の講話を行った。 |

○相知地区

日　時　　平成 27 年 2 月 19 日（火)14:00～16:30

場　所　　有田町生涯学習センター視聴覚室

参加者　　20 名

内　容　　11 団体から活動内容の紹介及び課題について話された。その後、「青少年の薬物使用防止、危険ドラッグ」について、伊万里警察署生活安全課長　首藤　隆則氏の講話を行った。

## ④　子ども・若者育成支援の広報啓発活動の推進事業

小・中学生、保護者（大人）を対象にした、携帯電話・インターネットによる有害情報の対処法などの講演を小・中学校に講師を派遣して実施（出前講座「ひまわり講座」）し、家庭や学校などの取り組みを喚起し一層の機運醸成を図った。

○「ひまわり講座」の実施

スマートフォンなど日々進化し急速に普及しているネット環境の中で、子ども・若者のインターネットを利用してトラブルや犯罪被害に遭う事案が県内でも発生しており、子ども・若者を守る取り組みとして、保護者、小・中学生を対象に希望する学校で出前講座を開催した。

・実施期間　　平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

・受講対象者　児童、生徒、保護者、地域住民など

・開講箇所　　希望する小・中学校の約 50 カ所

・講座内容　　「子どもたちを有害情報から守るために」をテーマに講演

・講師　　佐賀県警察本部、（財）マルチメディア振興センター、NTT ドコモなど

（結果）

○ 開催した学校数　60 校　　（小学校:35 校　中学校:25 校）

＊4 校は小中併設校で児童･生徒が受講

受講者数　9,966 名（児童･生徒数 7,629 名　保護者数 1,369 名　教職員外 968 名）

## ⑤　広報啓発事業

（ア）広報紙の発行

子ども・若者育成支援運動に関する各種の情報の収集、提供に努

めるとともに、広報啓発のため機関紙「青少年さが」を発行した。

・発　行　　年２回
・部　数　　約３，500 部
・発行月　　７月、３月
・配布先　　賛助会員、公民館、小・中学校、市町、青少年育成市町民会議、県民会議会員（構成団体）、子ども・若者育成支援団体等

| 発行年月 | 号数 | 発行部数 | 頁数 | 主な内容 |
|---|---|---|---|---|
| 平成 26 年７月 | 112 号 | 3,500 部 | 4 | ・平成 25 年度決算<br>・平成 26 年度予算<br>・賛助会員の紹介（企業、団体） |
| 平成 27 年３月 | 113 号 | 3,400 部 | 6 | ・県民大会<br>・顕彰事業<br>・第 36 回少年の主張県大会<br>・有害情報対策推進フォーラム等 |

（イ）ホームページによる情報発信

県民会議のほか、子ども・若者育成関係の情報提供や啓発を行う予定でしたが、賛助会費の目標額に至らず、業者への委託が出来なかった。

## 第３　子ども・若者の非行防止と社会環境の浄化・整備促進

### ①　「子ども・若者育成支援、非行防止県民大会」開催事業

県民や子ども・若者育成支援関係者及び警察関係者が一堂に会し、子ども・若者育成の決意を新たにする機会として、「全国子ども・若者育成支援強調月間」に県民総ぐるみによる県大会を開催した。

・日　時　　平成 26 年 11 月 23 日（日）13：30～16：30
・場　所　　多久市中央公民館（多久市）
・参加者　　約 300 名
・内容　　顕彰表彰、講演、大会宣言など
・共催　　佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、佐賀県青少年育成県民会議

（結果）
・日　時　平成 26 年 11 月 23 日（日）13:30～17:00
・場　所　多久市中央公民館
・参集者　約 250 名
○講演　　演題「立ち直り支援に求められるもの」
　　講師　佐賀県警察本部生活安全部少年課
　　課長補佐　警部　桑原　宏樹　氏
○事例発表　演題「嬉野市青少年育成市民会議の活動報告」
　　～夢づくり支援事業の事例～
　　講師　嬉野市企画部文化・スポーツ振興課
　　副課長　槐原　慎二　氏
○大会宣言　佐賀県少年補導員連絡協議会会長　　野田　豊秋　氏

## ②　地域環境点検活動事業

子ども・若者にとって好ましくない環境の浄化改善のために、各青少年育成市町民会議の協力を得て、地域環境の一斉点検活動を実施した。

・時　期　11 月
・点検先　書店、ビデオレンタル店、ゲームソフト販売店、酒類・たばこ販売店、酒類販売店等
・参加者　青少年育成アドバイザー、子ども・若者育成支援指導者、少年補導員、PTA、青少年育成市町民会議関係者など

地域環境点検活動の説明会
日時　　平成 26 年 10 月 2 日（木）13:30～16:30
場所　　県庁新行政棟 11 階大会議室
参集者　　市町担当者、市町青少年育成市町民会議担当者等
(点検結果)
○点検個所　424 箇所
○参加人員　439 人
○青少年に対する配慮の状況
・大変良くできている。　403 箇所
・できている。　16 箇所
・できていない。　4 箇所
・全くできていない。　1 箇所

## ③　子ども・若者を取り巻く有害環境対策の推進事業

（ア）「子どもと親の携帯電話・インターネット講演会」の開催

携帯電話、インターネットは、生活に便利な通信手段として家庭や子ども達の間に普及している。一方、こうしたインターネットによる犯罪がおき、子どもたちの被害が発生している。

そうした状況を踏まえて、携帯電話やインターネットの活用について、親子で一緒に考える機会とする「講演会」を開催する。

＊この事業は、特別会計事業「有害環境対策推進フォーラム」の開催に替え実施しませんでした。

・日　時　　平成―年―月―日（―）
・場　所　　―
・主　催　　佐賀県青少年育成県民会議
・後　援　　佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、県 PTA 連合会、県高等学校 PTA 連合会、県中学校生徒指導連盟、県高等学校生徒指導連盟
・内　容　（１）講演及び講師　未定
・対象者　　小･中学生、高校生、保護者、教職員、子ども・若者育成支援指導者、県民など

（イ）「未成年者飲酒防止、飲酒運転撲滅キャンペーン」及び「未成年者喫煙防止キャンペーン」を関係機関・団体とともに実施した。

○未成年者飲酒防止、飲酒運転撲滅キャンペーン（啓蒙グッズの配付）
日時　　平成 26 年 4 月 14 日(月)15:30～16:40
場所　　JR 佐賀駅北口及び南口
主催者　佐賀県小売酒販組合連合会

○未成年者喫煙防止キャンペーン
日時　　平成 26 年 12 月 9 日（火）7:30～8:20
場所　　JR 佐賀駅周辺（未成年者喫煙防止グッズ（絆創膏））
○未成年者喫煙防止協議会
日時　　平成 26 年 12 月 9 日（火）9:00～10:50
場所　　グランデはがくれ
参加者　15 名
内容　　各団体からの活動報告及び意見交換

（ウ）薬物乱用防止及び防犯ポスターコンクールの実施

佐賀県高等学校生徒指導連盟及び中学校生徒指導連盟と連携し、少年の薬物乱用防止と防犯意識の向上を図った。

（結果）
・応募期間　平成 26 年 7 月 22 日（火）～平成 27 年 1 月 16 日（金）
・応募者数　薬物乱用防止ポスター　42 作品
　　防犯ポスター　19 作品
・審査会場　県立伊万里商業高等学校
・審査員　3 名
・県民会議会長賞　最優秀作品
　薬物乱用防止ポスター　古藤　悠さん（佐賀女子高等学校 2 年）
　防犯ポスター　小川　佳歩さん（県立唐津東高等学校 1 年）

## 第４　子ども・若者育成支援指導者の養成促進

### ①　指導者研修事業

地域における多様な人材を活用した地域ぐるみの育成活動を促進するとともに、子ども・若者育成支援のために直接かかわる指導者の養成に努め、指導力の向上を図り、また、その活動を支援した。

（ア）指導者研修会の開催
・時期　平成 26 年 12 月 12 日（金）14：00～16：00
・場所　唐津市相知町(相知交流文化センター)
・講師　NTT ドコモ、佐賀県こども未来課職員
・内容　講演「子どものインターネット利用について」(NTT ドコモ)
　「佐賀県青少年健全育成条例について」(県職員)
・参集者　市町青少年育成市町民会議関係者、地域のおじさんおばさん運動に携わっている方、青少年育成アドバイザー、PTA 関係者など

（結果）
・日時　平成 26 年 12 月 12 日（金）14：00～16：00
・場所　唐津市相知町(相知交流文化センター)
・参加者　64 名
・講演　①「子どもをトラブルから守るために」

| |
|---|
| 講師　NTT ドコモ九州支社　　松岡　愛由美　氏<br>・講演　　②「佐賀県青少年健全育成条例について」<br>講師　佐賀県くらし環境本部こども未来課<br>青少年健全育成担当係長　百武　航　氏 |

（イ）合同開催　「子ども・若者育成支援、非行防止県民大会」と合同で実施した。（再掲）

・時　期　　平成 26 年 11 月 23 日（日）13：30～17：00

・場　所　　多久市中央公民館（多久市）

（ウ）合同開催　「子どもと親の携帯電話・インターネット講演会」合同で実施する。（再掲）

・日　時　　平成―年―月―日（―）

・場　所　　―

＊この事業は、特別会計事業「有害環境対策推進フォーラム」の開催に替え実施しませんでした。

## 第５　運動の活性化と充実強化の促進

### ①　市町民会議活動との連携強化

子ども・若者育成支援運動が成果をあげるためには、地域住民の意識を盛り上げる必要があり、青少年育成市町民会議との連携を密にするとともに、その活動が充実されるよう支援した。

○市町民会議の活動助成

青少年育成市町民会議が勧誘して賛助会員になった方の会費を、当該市町民会議へ活動費として３割を交付した。

| |
|---|
| （結果）<br>・交付先　　20 市町青少年育成市町民会議<br>・交付額　　438,000 円<br>・交付年月日　平成 27 年 1 月 21 日（水） |

○市町青少年育成市町民会議事務局長会議の開催

青少年育成市町民会議との情報交換等により連携を図り、子ども・若者育成支援を推進した。

・日時　　平成 26 年 9 月 3 日（水）10:00～12;00

・場所　　佐賀県正庁

| |
|---|
| （結果）<br>参加者　青少年育成市町民会議 18 名（17 市町民会議）<br>内　容　・各市町民会議の平成 26 年度事業について<br>・少年の主張佐賀県大会及び賛助会費の取り扱いについて<br>・県民会議への要望について |

### ②　各種指導者研修会の実施（再掲）

○子ども・若者育成支援ネットワーク会議の開催

各分野における子ども・若者育成支援関係者が、幅広い活動、多彩な人材でのネットワーク化を図り、連携・協力を深めることにより、地域ぐるみの育成活動の充実を図った。

・各分野における子ども・若者育成支援関係者の連携強化を図るため、県内２地区（玄海町、有田町）でネットワーク会議を実施した。

・「地域のおじさん・おばさん運動」の推進を図るため、青少年育成市町民会議と連携を深めた。

### ③　広報啓発事業（再掲）

（ア）広報紙の発行

子ども・若者育成支援運動に関する各種の情報の収集、提供に努めるとともに、広報啓発のため機関紙「青少年さが」を発行した。

・発　行　　年２回　　・部　数　　約 3，500 部

・発行月　　7 月、3 月

・配布先　　賛助会員、公民館、小・中学校、市町、青少年育成市町民会議、県民会議会員、子ども・若者育成支援団体等

（イ）ホームページによる情報発信

県民会議のほか、子ども・若者育成関係の情報提供や啓発を行う予定でしたが、賛助会費の目標額に至らず、業者への委託が出来なかった。

## 第６　県民会議基盤づくり

### ①　関係機関・団体との連携事業

子ども・若者育成支援関係機関・団体との連携を密にし、関係事業に協賛、後援するなど子ども・若者育成支援の推進を図った。

（後援）
○少年ボランティア体験セミナー（佐賀地区 BBS 会）
（期間：平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）
○ 平成 26 年度全国地域安全運動（佐賀県警察本部生活安全企画課）
（期間：平成 26 年 10 月 11 日～10 月 20 日）

○ 「青少年の現状と本音を知る会」（佐賀県青少年育成アドバイザー連絡協議会）
（期間：平成 26 年 10 月 25 日～10 月 26 日）

## ② 賛助会員募集事業及び永年賛助会員に対する感謝状の贈呈事業

子ども・若者育成支援県民運動の推進に賛同し、支援・協力していただくために、市町民会議の方々とともに企業に出向くなど、広く賛助会員の募集に努めた。また、これまで長い期間協力いただいている永年賛助会員加入者に対し、感謝状を贈呈した。

| 個人の部（15 年） | | | 5 | 鳴滝酒造株式会社 | 唐津市 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 松本　忠司 | 唐津市 | 企業・団体の部(30 年) | | |
| 2 | 岩本　平三郎 | 唐津市 | 1 | 県地域婦人連絡協議会 | 佐賀市 |
| 3 | 渡邊　講一 | 唐津市 | 2 | 松尾建設株式会社 | 佐賀市 |
| 4 | 中村　雄一郎 | 鹿島市 | 3 | (医)唐虹会虹と海のホスピタル | 唐津市 |
| 企業の部（20 年） | | | 4 | 今泉建設株式会社 | 鳥栖市 |
| 1 | 木下株式会社 | 佐賀市 | 5 | 東亜工機株式会社 | 鹿島市 |
| 2 | 株式会社サガプロ | 佐賀市 | 6 | （公財）原田記念財団 | 大阪府 |
| 3 | 大和酒造株式会社 | 佐賀市 | | | |
| 4 | 有限会社富士生コン | 佐賀市 | | 総計　15 | |

## ③ 運営会議の開催等

（ア）平成 26 年度定期総会
5 月 30 日（金）14：00～16：00　　アバンセ研修室
（イ）平成 26 年度　理事会
第 1 回　5 月 26 日（月）14:00～15:00　県自治会館４F 会議室

第２回　10 月 27 日（月）14:00～16:00　県立図書館会議室
第３回　 3 月 25 日（水）14：00～16:00　県特別会議室 A

（ウ）各部会の開催
総務部会及び家庭・社会部会
10 月 27 日（月）10：00～12:00　県立図書館会議室

（エ）監査　　４月 25 日（金）14：00～15:30　県会議室１号

| | |
|---|---|
| ○通常総会 | ・平成 26 年 5 月 30 日（金） |
| | ・アバンセ研修室 |
| | ・出席者　46 名（委任状 42 名） |
| ○第１回理事会 | ・平成 26 年 5 月 26 日（月） |
| | ・佐賀県自治会館 |
| | ・出席者 11 名（委任状 12 名） |
| ○第２回理事会 | ・平成 26 年 10 月 27 日（月） |
| | ・佐賀県立図書館会議室 |
| | ・出席者 17 名（委任状 6 名） |
| ○第 3 回理事会 | ・平成 27 年 3 月 31 日（火） |
| | ・県庁特別会議室 A |
| | ・出席者 16 名（委任状 6 名） |
| ○第１回総務部会、家庭・社会部会（合同部会） | |
| | ・平成 26 年 10 月 27 日（月） |
| | ・佐賀県立図書館会議室 |
| | ・出席者 7 名 |
| ○平成２５年度監査 | ・平成 26 年４月 25 日（金） |
| | ・県会議室 1 号 |

## ④　青少年育成九州地区会議

九州各県の青少年育成県民会議事務局担当者等が一堂に会し、これからの青少年育成の方向や青少年育成運動の活性化と浸透を図るため、情報交換や共通議題ついて協議した。

・日時　　平成 26 年 10 月 7 日（火）13:30～16:30
・場所　　グランデはがくれ
・参集者　九州各県青少年育成県民会議事務局長、担当者

（結果）
出席者　11 名（福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県各 1 名）
（鹿児島県 2 名、佐賀県４名）
内容　　・協議事項５項目、照会事項４項目、紹介事項(PR) ４項目